

2024 年度定期総会資料

日 時 2024 年 5 月 24 日 (金) 午後 7 時
場 所 (公財)社会教育協会ホール (シンデレラビル 3 階)



特定非営利活動法人 日野福祉の学校

目次

第1議案	2023年度	事業報告	2
第2議案	2023年度	決算ならびに監査報告	5
第3議案	2024年度	事業計画(案)	10
第4議案	2024年度	収支予算書	11



本法人は、市民の人権が保障され誰もが安心して人間らしく生きられる社会を実現するために、保健・医療・福祉に関して総合的に研究・学習をし、市民相互の学びあいの場と共同のネットワークの形成に努め、もって福祉力のあるまちづくりに寄与することを目的とする(定款 第3条)。

第1議案 2023年度 事業報告

1. 会員の現状

2024年3月末現在の登録会員数は39名である。

2023年度の新規会員加入はおらず、退会者は1名であった。

2. 会 議

(1) 総会

ア 通常総会 2023年5月27日

イ 臨時総会 開催せず

(2) 理事会

第1回理事会

期日 2023年5月1日（金）

会場 （公財）社会教育協会ホール

内容 2023年度定期総会について

3. 運営委員会

2023年4月より2024年3月まで10回運営委員会を開催した。

日付

2023年4月2日

2023年5月1日 理事会

2023年6月5日

2023年7月3日

2023年9月4日

2023年10月2日

2023年11月6日

2023年12月1日

2024年1月8日

2024年2月12日

4. 実施事業



(1) 連続講座

正しい歩き方の講習会 3回実施

参加者アンケートによると、参加者は3回の講座に参加し、グループワークで詳細に話し合えて参考になったと感謝の意を述べている。特に、歩き方や靴の選び方に関する話題が興味深く、実習を通じて改善できたことに喜

んでいる。先生の親切な応答にも感謝し、今後は健康維持に関する講座を期待している。

	日付	参加人数
1 回目	2023 年 12 月 9 日	29
2 回目	2024 年 1 月 20 日	34
3 回目	2024 年 2 月 17 日	27
	(茶話会)	17

各会の人数は、会員、非会員を含む（参加費：非会員 1000 円、会員 500 円）

(2) たまり場

会員、非会員を問わず気軽に語り合える場作りのために、毎月第2金曜日夕方に設定して開催した。今年度は毎月実施できた。各人の「良い話」からはじまり、多彩な話題が出た。「旅行は辞めた。家を直して自宅で死にたい」、「一個人として百年に一度の地震にどう対応するか」やAIの話、「中学の友達が、霊能者になっていたの、目を覚まさせに行こうかと思っている」など。そして、ひのふくは、一人ひとりの言うことを認め合うグループだという点でみな合意した。たまりば -NPO 法人 日野福祉の学校 ひのふく

(hinofuku.org)

日付	人数
2023 年 4 月 14 日	8 名
2023 年 5 月 12 日	10 名
2023 年 6 月 9 日	9 名
2023 年 7 月 14 日	7 名
2023 年 8 月 11 日	8 名
2023 年 9 月 15 日	9 名
2023 年 10 月 10 日	15 名
2023 年 11 月 10 日	6 名
2023 年 12 月 8 日	12 名
2024 年 1 月 12 日	14 名
2024 年 2 月 9 日	8 名
2024 年 3 月 8 日	8 名

(3) わたしの生き方・あなたの生き方（旧自分らしい生き方を探る）

前年度に続き今年度も生き方を考えるフリー討論会を実施し、活発な議論を重ねることができた。4回開催した。ここでは、日本の社会や個人の問題について幅広い考察が語られた。

日本の平和ぼけや、日本人が騒がない性質についての疑問。

人口減少や選挙の投票率低下、経済停滞など、社会的な問題に対する不満。

学歴や個性に関する社会的な評価に対する懸念。

教育や社会制度に対する改善の必要性。

様々な思索や人生の意味に関する考え。

自己と社会の関係や価値観の多様性についての深い思考。

日付	人数
2023年6月15日	11名
2023年9月21日	8名
2024年12月21日	6名
2024年3月21日	8名

(4) 教育を考える

高校進学後に学業が難しくなり、大学でも勉強せずに遊んでいたことへの後悔や、学力の不足からの自己評価の低さ。

受験についての意識や経験、受験失敗や学歴による社会的な差別への悩み。

目的や興味に基づいた教育の重要性や、学歴だけでなく実践的なスキルや資格の重要性。

自然との関わりを好む一方で、人間関係や社会的な圧力に苦しむ傾向。

地域や家庭の背景による教育環境や差別への言及。

など、教育や学歴にまつわる様々な側面や、個々人の経験に基づく複雑な感情が語られた。

日付	テーマ	人数
2023年4月2日	先生	6名
2023年7月16日	先生	7名
2023年10月22日	受験	7名
2023年1月14日	新春教育放談会	5名

5. その他

(1) ホームページの充実を図った <https://hinofuku.org/>

「ひと息、ため息、心意気」のページに毎月理事の近況(折々の言葉)を掲載している。講座で使用したスライド資料を掲載した。

各事業での話題を掲載した。さらに、当法人の理念に沿った事業者・個人に対して、日野福祉の学校のドメイン・サーバーを有償で貸し出す(年間5,000円)こととする。



(2) まち活に参加した

地域活動初心者の方々に向けた応援イベントである、まち活に参加した。

(3) 市民フェアに参加した

NPO 日野市民団体活動ネットワークの活動に事業部会の役割で会議参加した。

(4) 市民活動支援センター20周年に参加した

第2議案 2023年度 決算ならびに監査報告

2023年度 貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位：円)

I 資産の部		II 負債の部	
1.流動資産		1.流動負債	
現金	0	未払金	0
預金	441,213	流動負債合計	0
流動資産合計	441,213	負債合計	0
		III 正味財産の部	
		当期正味財産増加額	42,944
		前期正味財産	398,269
		正味財産合計	441,213
資産合計	441,213	負債及び正味財産合計	441,213

2023年度 財産目録 (2024年3月31日現在)

科 目		金 額	(単位:円)
I 資産の部			
1.流動資産			
現金・現金手元有高	0		
預金・日野旭が丘郵便局	441,213		
流動資産合計		441,213	
資産合計			441,213
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			441,213

2023年度 収支計算書

科 目	金 額		(単位：円)
I 収入の部			
1. 入会金・会費等収入			
入会金収入	0		
会費収入	78,000		
		78,000	
2. 事業収入			
1) 講座・会員交流	127,980		
		127,980	
事業収入合計		127,980	
3. 寄付金／助成金		24,600	
4. 雑収入			
受取利息		3	
当期収入合計			230,583
II 支出の部			
1. 管理費			
通信費	4,952		
消耗品費	8,650		
借上使用料	30,735		
負担金	8,000		
雑費	600		
サーバー利用料	13,488		
管理合計		66,425	
2. 事業費			
講座・交流会	121,214		
事業費合計		121,214	
当期支出合計			187,639
当期収支合計			42,944
前期繰越額			398,269
次期繰越額			441,213

参考資料 2023年度 事業別収支計算書

(2023年3月31日現在)

1 本部経費

		適 用
I. 収入の部		
入会金	-	預金利息
会費収入	78,000	
雑収入	3	
合計	78,003	
II. 支出の部		
通信費	4,952	郵便料金、電話代
消耗品費	8,650	
借上使用料	30,735	ゆーりかホール
負担金	8,000	日野市民活動団体ネットワーク 市民フェア
雑費	600	サーバー使用料
パソコン	13,488	
合計	66,425	
収支差額A	11,578	

2. 講座・会員交流

		適 用
I. 収入の部		
参加者負担金	127,980	参加費 たまり場等 社会福祉協議会サロン活動助成金
助成金・寄付金	24,600	
合計	152,580	
II. 支出の部		
謝礼金	30,000	連続講座
通信費	0	
講座・交流会	60,479	たまり場等(ゆーりかホールなど)
借上使用料	30,735	
雑費	0	
合計	121,214	
収支差額B	31,366	

収支差額A+B	42,944
---------	--------

監査報告書

2024年 5月1日

特定非営利活動法人
日野福祉の学校
理事長 湯本 宣 殿

特定非営利活動法人
日野福祉の学校

監事 中澤 洋

2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度における会計及び業務の監査の結果について次の通り報告いたします。

監査意見

- 1 財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、会計帳簿の記載と一致し、特定非営利活動法人の収支状況及び財政状況を正しく示しているものと認めます。
- 2 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- 3 理事の職務執行に関する不正の行為、又は法令・定款に違反する重大な事実は無いと認めます。

以上

第3議案 2024年度 事業計画（案）

特定非営利活動法人 日野福祉の学校

1. 事業実施の方針

- ・当法人の定款に定める目的を達成するための「講座」を開催する。
- ・会員並びに非会員相互に啓発し親交を深めるため、「気軽に語り合えるたまり場」「自分らしい生き方を探る」「教育を語る会」を開催する。
- ・ホームページの充実を図る。
- ・法人設立の趣旨を実現するため、新たな事業の展開について研究・協議する。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定日	会場	対象者・予定人数	収支計算
連続講座	保健・医療・福祉関係	計画により適時	ゆうりかホール他	会員及び参加希望者 各回 20名	参加費 会員 500×5人×4回=10,000 会員外 1,000×15人×4回=60,000 会場費 2,000×4回=8,000 講師謝礼 10,000×4回=40,000
交流会	情報・意見交換	連続講座開催時に	同上	同上	参加費 200×15人×1回=3,000 飲食材料費及び調理謝礼は参加費で充当
気軽に語り合えるたまり場	参加者同士の語り合い	毎月第2金曜日を基本とする	同上	会員及び参加希望者 各回 10名	飲み物持参 参加費 300×10人×12回=36,000 会場費 2,000×12回=24,000
(仮)自分らしい生き方を探る	テーマに沿って自由発言	年3回	同上	同上 各回 10名	飲み物持参 参加費 300×10人×3回=9,000 会場費 2,000×3回=6,000
教育を語る会	学校体験を振り返り明日の教育を語る	年4回	同上	同上 各回 10人	飲み物持参 参加費 300×10人×4回=12,000 会場費 2,000×4回=8,000

3. 協力共催事業

NPO 法人ひの市民活動ネットワーク、日野社会教育センター、かわせみサロンなど、これまで共催事業や協力してきた団体を中心に、今年度も参加、後援などを行っていく。

第4議案 2024年度 収支予算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：円)

科目	金額		
I 収入の部			
1. 入会金・会費等収入			
入会金収入	2,000		
会費収入	82,000		
賛助会費収入	0		
		84,000	
2. 事業収入			
1) 講座	70,000		
2) たまり場	36,000		
3) 自分らしい生き方を探る	9,000		
4) 教育を語る会	12,000		
		127,000	
3. 寄付金／助成金収入		25,000	
4. 雑収入			
受取利息		10	
当期収入合計 (A)			236,010
II 支出の部			
1. 事業費			
1) 講座&交流会	48,000		
2) たまり場	24,000		
3) 自分らしい生き方を探る	6,000		
4) 教育を語る会	8,000		
		86,000	
2. 管理費			
会議費	5,000		
通信費	10,000		
借上・使用料	70,000		
消耗品費	10,000		
負担金	8,000		
雑費	1,000		
サーバー利用料	14,000		
		118,000	
3. 予備費		5,000	
当期支出合計 (B)			209,000
当期収支差額(A)-(B)			27,010
前期繰越額 (C)			441,213
次期繰越額			468,223